

令和8年度 第4回 国立大学法人三重大学教育研究評議会 議事概要

日 時 令和8年7月15日（水）13時30分～14時30分

場 所 事務局2階 大会議室

【一部の構成員等（※を付した者）はオンラインで出席】

出席者 伊藤学長

金子、湯浅、佐久間、織田島、西岡、田中※ 各理事

富樫、柿沼、尾西 各副理事

森脇、坂東、福録 各副学長

豊福、宮岡、山崎、今西、橋本、諏訪部 各学部・研究科長

野崎、伊藤敏、鈴木、池浦、木村 各評議員

陪席者 中津、小川 各監事

企画総務部長、財務部長、学務部長、施設部長、図書・情報部長、医学・病院管理部
長、企画総務部総務チーム

I. 審議事項

1. その他
なし

II. 報告事項

1. 学部・都道府県別志願者数の推移について

湯浅理事から、「資料：報—1」に基づき、学部・都道府県別志願者数の推移について、特に愛知県及び三重県からの志願者数が大きく減少しており、学部によっても傾向に特徴があることから、状況を踏まえた志願者確保策を検討する必要がある旨の説明があった。

2. 令和7年度修学達成度評価（4つの力に関するアンケート）実施結果の分析について

湯浅理事から、「資料：報—2」に基づき、令和7年度修学達成度評価（4つの力に関するアンケート）実施結果の分析について報告があった。

3. 令和8年度修学達成度（三重大学の4つの力等に関するアンケート）の実施について

湯浅理事から、「資料：報—3」に基づき、令和8年度修学達成度（三重大学の4つの力等に関するアンケート）の実施について報告があった。

4. 休学者、留年者、退学・除籍者の推移について

湯浅理事から、「資料：報—4」に基づき、休学者、留年者、退学・除籍者の推移について報告があった。

5. 「産業・科学革新人材事業（INSIGHT）」について

金子理事から、「資料：報—5」に基づき、「産業・科学革新人材事業（INSIGHT）」について、産学連携による人材育成や共同研究を内容として申請した旨の報告があった。

6. 国立大学協会通常総会報告について

織田島理事から、「資料：報－6」に基づき、国立大学協会通常総会報告があった。
特に第5期中期目標・中期計画、運営費交付金の算定ルール、新たな大学評価制度及び科学技術人材に関する国の検討状況等について説明があった。

7. その他

なし

Ⅲ. 意見交換事項

1. 令和8年度「翠の環学」について

湯浅理事から、「資料：意－1」に基づき、令和8年度「翠の環学」の採択結果及び次年度以降の支援の基本的な考え方について説明があり、支援の継続性、学部による支援との組み合わせ、国内及び海外で実施する取り組み間の公平性並びに募集時期等について意見交換が行われた。

<主な意見>

- ・学部による支援制度を設け、全学からの支援と組み合わせることで、取り組みをさらに上げていくことも検討してはどうか。
- ・新規のものをどこまで支援するか。授業である以上、一度開始すれば継続して実施する必要があるため、継続的な支援の在り方や支援機関の目安をあらかじめ検討する必要があるのではないか。

2. 四日市教育研究拠点の設置について

金子理事及び今西工学研究科長から、「資料：意－2」に基づき、四日市市が設置を検討している公立大学との連携など、四日市教育研究拠点の構想及び検討状況について説明があり、今後の進め方等について意見交換が行われた。

<主な意見>

- ・設置審も厳しくなっている状況で、四日市の公立大学が予定どおり開学できないリスクもあるのではないか。
- ・四日市の拠点は学生確保の観点からも非常に重要なものであり、他大学が誘致されるおそれもあるため、設置を前提として、機を逸することなく早期に検討を進める必要があるのではないか。

3. その他

なし

以上